

このたびは弊社「コンプレッサー式除湿機 DM-10」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

取扱説明書 コンプレッサー式除湿機 DM-10

パワフル除湿で カラッと 快適空間

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	500/550W
電 流	6/5.6A
除 湿 能 力	21/25L
タ ン ク 容 量	8L（満水停止容量：約6.5L）
圧 縮 機	全閉型ロータリー（定格出力0.55kW）
冷 媒	R410A（GWP値2090）
冷 媒 封 入 量	260g
使 用 環 境	5～32℃ 相対湿度30～90%
騒 音 値	（強）51dB （弱）47dB
除湿範囲の目安	木 造33㎡（約20畳）/38㎡（約23畳） プレハブ51㎡（約31畳）/57㎡（約35畳） 鉄 筋67㎡（約40畳）/75㎡（約45畳）
電 源 コ ー ド	約1.8m
本 体 寸 法	390mm×280mm×600mm
質 量	約16kg

※改良のため予告なく仕様、外観を変更する場合がございます。
 ※除湿能力は室温27℃、湿度60%の室内で1日、運転した際の能力です。
 ※本製品は日本国内専用商品となります。
 日本以外の使用はできません。
 保障やアフターサービスについても適用外となります。



もくじ

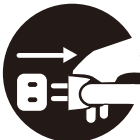
■安全上の注意事項	P1 ～ P2
■各部名称・付属品	P3
■ご使用前に	P4
■操作方法	P5 ～ P6
■満水停止・水捨て・連続排水（ドレンホース）について	P7 ～ P8
■霜取り機能について	P8
■お手入れ	P9
■トラブルの原因と対策	P10

安全上の注意事項

- ご使用になる前に安全上の注意をよくお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつく重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。

○表示と意味について

表 示		表示の意味
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の例		図記号の意味
	分解禁止	○の記号は、禁止の行為を示します。(してはいけないこと) 具体的な禁止内容は、文章や絵で示します。 左図の場合は、「分解禁止」を示しています。
	電源プラグを抜く	●の記号は、行為を強制したり指示する内容を示しています。 具体的な強制内容は、文章や絵で示します。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」ことを示しています。

警告

	絶対に分解・改造はしないでください。火災・感電・ケガの恐れがあります。		電源は、交流100Vを使用してください。交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。
	修理技術者以外の人は、分解・修理をしないでください。火災・感電・ケガの恐れがあります。修理はお買い上げの販売店までご相談ください。		お手入れ、取り付けのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。濡れた手で抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、塗料等や、その他引火性のもの、爆発の恐れのある物の近くでは使用しないでください。爆発、火災の原因になります。		電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取るようにしてください。プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
	定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱し発火することがあります。		電気部品は水や洗剤をかけたり、吹き付けたりしないでください。漏電により、火災・感電の恐れがあります。

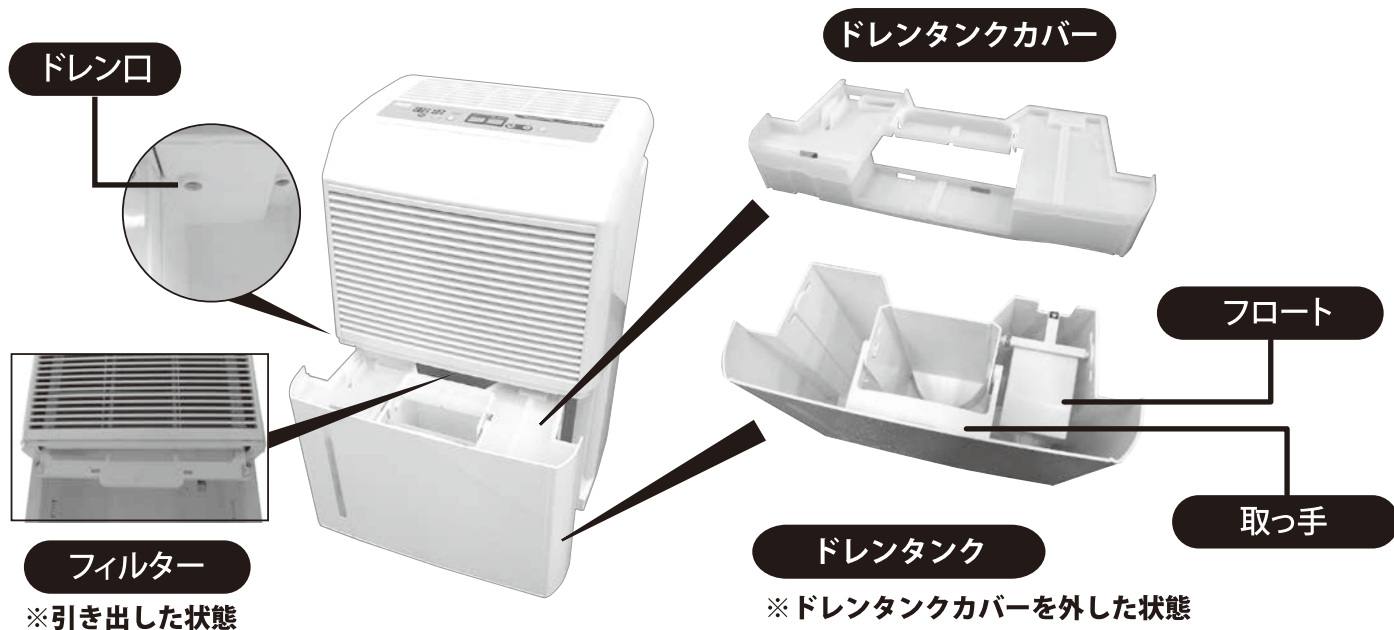
警告

	火気に近づけないでください。 本体の変形によりショートする恐れがあります。		電気工事は必ず電気工事士が行ってください。 電気設備基準や内線規定に従って安全・ 確実に行ってください。 誤った電気工事は火災、感電の原因になります。
	本体の上に乗ったり物を置かないでください。 中に異物が落下すると、ファンの破損・事故の 原因になります。		船舶・車両等の空調用としては使用しないで ください。 水漏れ・漏電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずに 必ず先端の電源プラグを持って引き抜いて ください。プラグがいたんでいるときは使用 しないでください。コードに傷が付き火災、 感電の恐れがあります。		長時間ご使用にならないときは、電源プラグを コンセントから抜いてください。 絶縁劣化による火災、感電の恐れがあります。
	アルミニウム・亜鉛・マグネシウム・チタン などの爆発性粉塵、ガス蒸気等の近くでは 使用しないでください。		ご使用中に異常（回転停止・異常音・異常 振動・異臭）等が発生した時は直ちに使用を やめ電源プラグをコンセントから抜いて ください。 火災感電の恐れがあります。
	運転可能条件の範囲内で使用してください。 本機の能力を超えた動作は感電・火災・ 故障の原因になります。 周囲温度5℃～32℃、相対湿度30%～90% 以内でご使用ください。		運転時は本体が動かない場所、何かが落ち てこない場所、通路以外に設置してください。 本体が不用意に動くと、ケガや事故の原因に なります。
	屋外、屋内での水のかかる場所では使用 しないでください。		お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセント から抜いてください。 感電やケガをすることがあります。
	感電防止のため、漏電遮断機が取り付け られている電源を使用してください。 漏電遮断機の取り付けが無い場合には 市販品の漏電遮断機を使用してください。		電源プラグを抜き差しして電源を入れたり 切ったりしないでください。 感電や故障の原因になります。

各部名称



ドレンタンク周辺



付属品



・ドレンホース1m

開梱時、ドレンホースはドレンタンク内に入っていますので、ご使用前に必ず、取り出してください。

ご使用前に

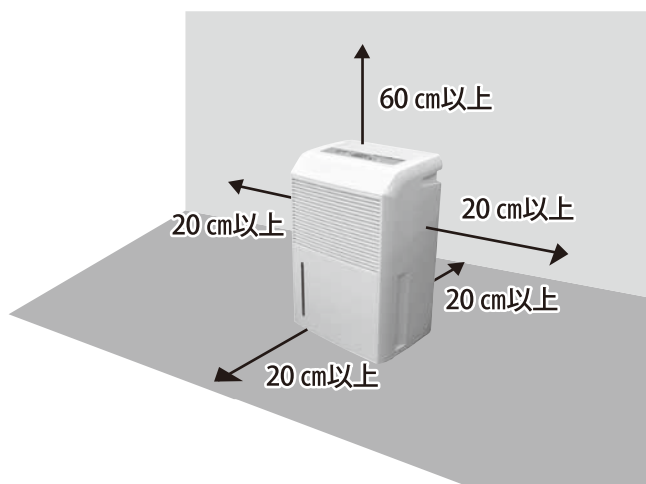
⚠ 注意

	本製品はコンプレッサーを積んでいるので横倒しにしたり、逆さにはしないでください。故障の原因となります。		テレビの側やラジオの側へ設置、使用しないでください。電波障害の原因となる恐れがあります。
	本体の上に乗ったり、物を置かないでください。中に異物が落下すると、ファンの破損・事故の原因になります。		ご使用前に必ず本体に割れやヒビ等の異常があるかを確認してください。異常がある場合には使用せずに、販売店にご相談ください。

- 電源は、直接コンセントよりお取りください。
- 電源は、交流 100V を使用してください。交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。
- 電源プラグを抜き差しして電源を入れたり切ったりしないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品は屋内用です。直射日光のあたる場所・雨風の当たる場所や水がかかりやすい場所で使用しないでください。
- 学術資料や美術品等の保存や保管には使用しないでください。
- ガス漏れが起こる可能性のある場所、薬品を使用する場所では使用しないでください。火災の原因、本体劣化・故障の原因となるおそれがあります。

●設置について

- ・本体設置の際は、壁や障害物等から**右図の数値以上のスペースを空けてください。**
- ・吸気口・送風口がふさがっていたり、熱がこもってしまうと、正常に運転が出来なかったり、故障の原因となります。
- ・運転中、送風口より暖かい風が出ますので壁や物に直接、風が当たらないようにしてください。
- ・平らでしっかりとした床面に設置してください。



●使用環境について

- ・本製品の使用環境温度は 5 ～ 32℃ となります。
- ・32 度以上の環境では本体内部の湿度が高くなり、正常な運転が出来ない場合がございます。
- ・気温が低い（およそ 12℃ 以下）場合には霜取りの時間が長くなり、運転時間が短くなりますので、除湿量が減少していきます。
- ・使用環境温度内でも、気温が低いほど、除湿した水が凍りつきやすく、霜取り機能が働き除湿能力が減少します。
- ・本製品を使用する時は使用するお部屋の窓や戸は閉めた状態でご使用ください。
- ・本機は排熱が出ます、使用する事で室内の温度が多少上昇します。

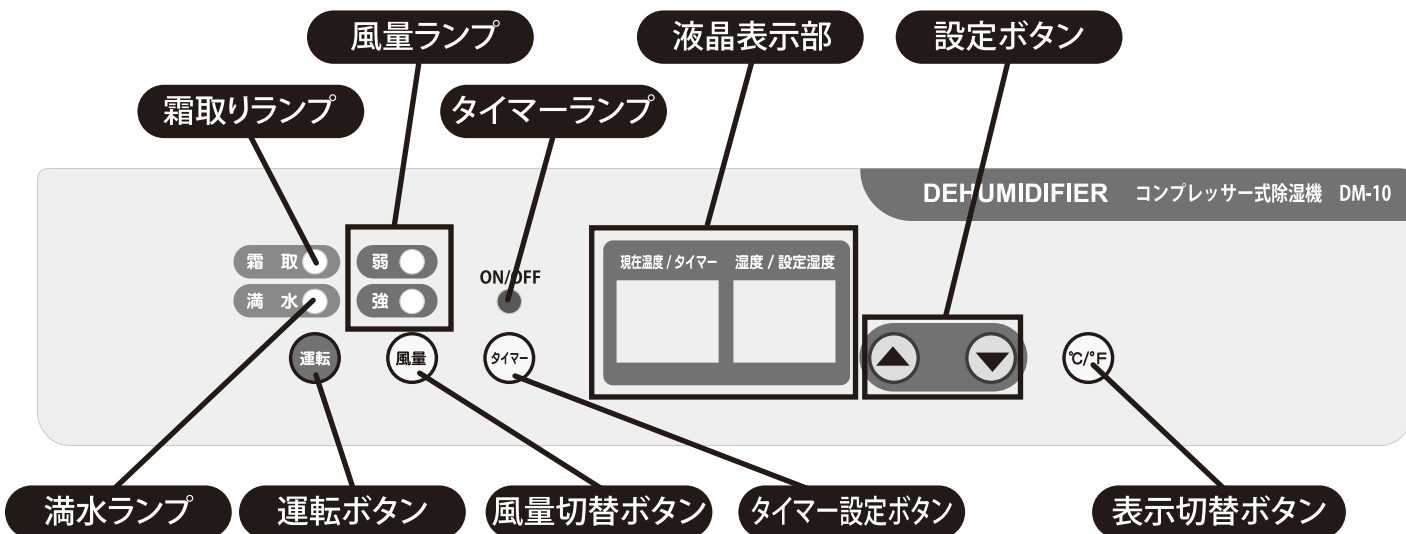
●運転を停止した場合に

- ・運転を停止した後、すぐに電源を入れても機械保護のため、すぐにコンプレッサーは動きません。
- ・ご使用前の確認で電源を入れ、切った後すぐに電源を入れても送風のみとなり、除湿はしておりません。一度、電源を切った後は、約 5 分経ってから再度スイッチをいれてください。

※満水停止状態も同様に、直ぐに起動しません。(P7)

操作方法

●操作パネルの各名称



●各ボタン、ランプのはたらき

運転ボタン

- ・運転を停止しているときに押すと運転、運転中に押すことで運転を停止します。

風量切替ボタン 風量ランプ

- ・運転中、風量切替ボタンを押すことで、風量の強・弱の切替ができます。
風量ランプは強・弱のいずれかが設定されている側が点灯します。
- ・乾いた空気を吹き出しながら空気を循環させます。

霜取りランプ

- ・使用環境の温度が低い場合には霜が張ります。
霜が張り、霜取り機能が作動した際に点灯します。(霜取り機能について：P8)

満水ランプ

- ・ドレンタンクが満水になった際にランプが点灯し、運転が停止します。(満水停止：P7)
- ・ドレンタンクを取り外した状態、しっかりと取りついていない状態でも点灯します。

タイマー設定ボタン タイマーランプ

- ・運転中、タイマー設定ボタンを押す事でタイマー運転が可能です。
タイマー設定中にはタイマーランプが点灯します。(切タイマーの設定：P6)

設定ボタン

- ・湿度、タイマーの設定時に使用します。(湿度の設定 / 切タイマーの設定：P6)

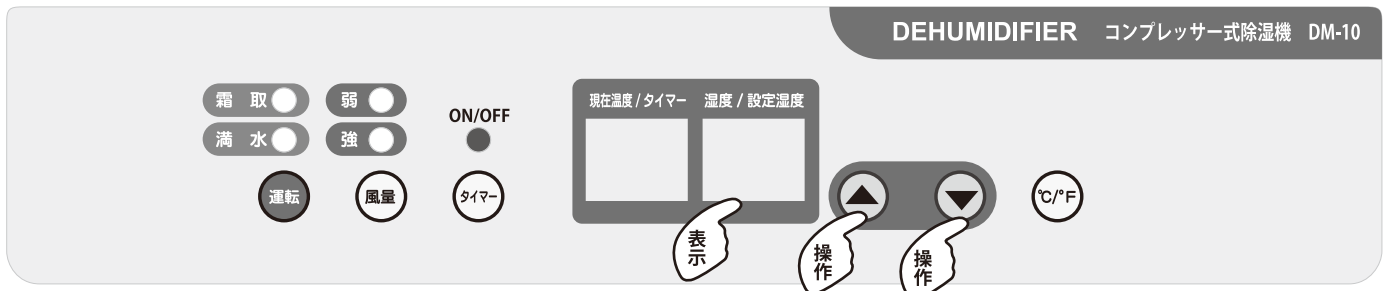
液晶表示部

- ・湿度、現在温度、設定湿度、タイマーの情報を表示します。(液晶表示部について：P6)

表示切替ボタン

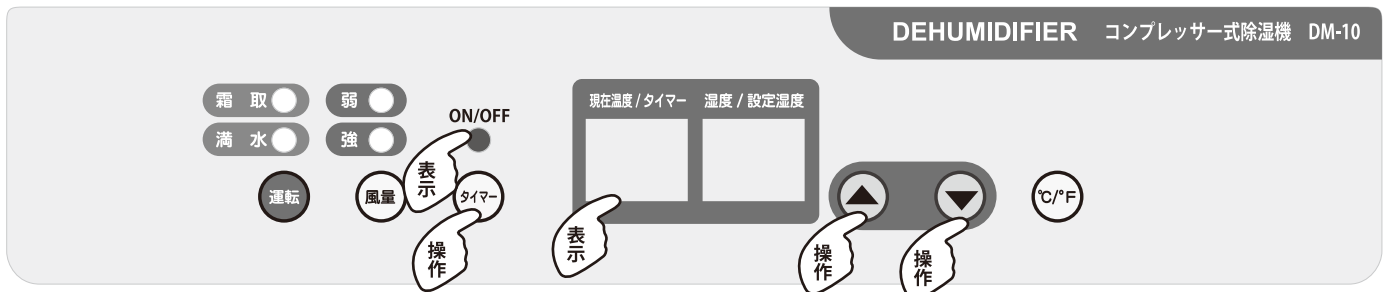
- ・摂氏 (°C)・華氏 (°F) の表示を切り替えます。摂氏の時に押すと華氏表示に、華氏の時に押すと摂氏表示となります。

●湿度の設定



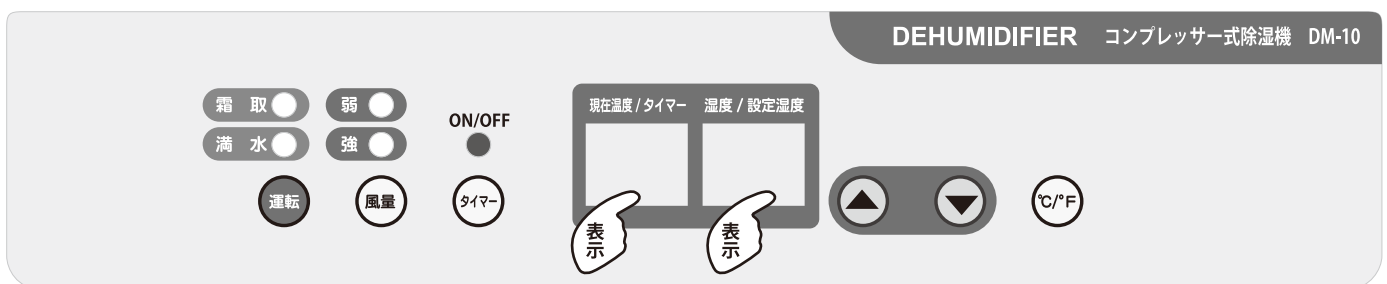
- ・設定ボタンの▲・▼を押す事によって湿度を設定することができます。
- ・湿度は 30 ～ 90%の間で 5%きざみで設定ができます。
- ・設定中、湿度は液晶表示部の設定湿度側に表示されます。
- ・設定ボタンの▲を押すことで設定湿度が 5%高くなり、▼を押すことで設定湿度が 5%低くなります。
- ・設定後、約 10 秒で湿度の表示に戻ります。

●切タイマーの設定 設定することにより、任意の時間で運転を自動停止させることができます。



- ・タイマー設定ボタンを押すことによって切りタイマー設定モードになります。(ON/OFF 点灯)
 - ・切りタイマーは 1 ～ 24 時間の間で 1 時間きざみで設定が可能です。
 - ・設定時間は液晶表示部のタイマー側に表示されます。
 - ・設定ボタンの▲を 1 回押すごとに 1 時間長くなり、▼を押すごとに 1 時間短くなります。
 - ・設定を 1 にすることで、1 時間後に運転停止、2 にすることで 2 時間後に運転停止します。
 - ・設定後、約 10 秒で現在温度の表示に戻ります。
 - ・タイマーの設定を解除するには、運転を停止するか、タイマーの設定を 0 にすることで解除できます。
- ※自動で運転を開始する機能ではありませんのでご注意ください。

●液晶表示部について



- ・運転中、液晶表示部は現在温度と湿度が表示されています。
- ・各ボタンを押した時、操作時の表示につきましては操作方法 P5、P6 をお読みください。

満水停止・水捨て・直接排水(ドレンホース)について

●満水停止

- ・本製品はドレンタンクが一杯になると満水ランプが点滅し、満水停止状態になります。
- ・満水停止の際は、ドレンタンク内の水を捨ててください。(ドレンタンクの外し方は下記の●水捨て)
- ※ドレンタンクを外す際に本体内に残ったドレン水がこぼれるおそれがありますので、少し時間を置くかウエスを敷く等ご注意ください。
- ※コンプレッサー保護のため、ドレンタンクを戻してすぐには起動しない場合がございます。

●水捨て

ドレンタンクを取り出す際は、運転を停止してから行ってください。

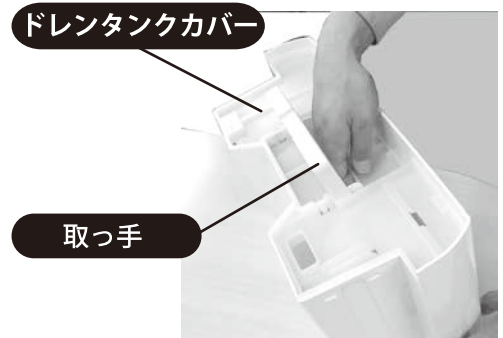
- ・除湿された水を捨てる場合には、ドレンタンクの両側を持ち引き出してください。
- ※タンクを引き出す際は必ず両手で均等に引き出すようにしてください。
- ※片側だけを引っ張ったり、勢いよく引くと水がこぼれる原因となります。



- ・ドレンタンクを運ぶ際は取っ手部分を持つようにしてください。
- ※ドレンタンクを外す際に本体内に残ったドレン水がこぼれるおそれがありますので、少し時間を置くかウエスを敷く等ご注意ください。



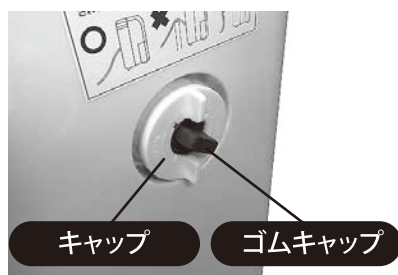
- ・水捨ての前にドレンタンクカバーを外してください。
- ※ドレンタンクカバーを取り外す際は、取っ手を起こして、取っ手の下のドレンタンクカバーの隙間に手をかけ、ゆっくり上に持ち上げて外します。



- ・水捨て後、ドレンタンクカバーを取り付けてください。
- ※ドレンタンクカバーを取り付ける際は、取っ手を起こして、ドレンタンクカバーの取り外しと逆の手順で取り付けます。
- ドレンタンクカバーがしっかりはまっていることを確認してからドレンタンクを本体へ戻してください。
- ※ドレンタンクがしっかりと取り付けられていないと、エラーとなり、作動しません。

●直接排水(ドレンホース)

- ・ドレンホースを接続することによって直接排水をすることができるので、満水停止がなく、連続運転をすることができます。



- ①本体背面のドレンホース口のキャップを外します。
OPEN の矢印側に回すとゆるみ、CLOSE の矢印側に回すことで閉まります。
- ②ドレンホース口のキャップを外した後、ゴムキャップを引き抜いてください。
※ゴムキャップを外す際は、運転後すぐに外すと本体内に溜まった水が出てきますので、運転停止後、時間を置くか、濡れても良い場所で行ってください。
- ③付属のドレンホースを先に外したキャップの穴に通します。
ドレンホースのゴムパッキン側がキャップのネジ山側に来るように通してください。

ホースにキャップを通す

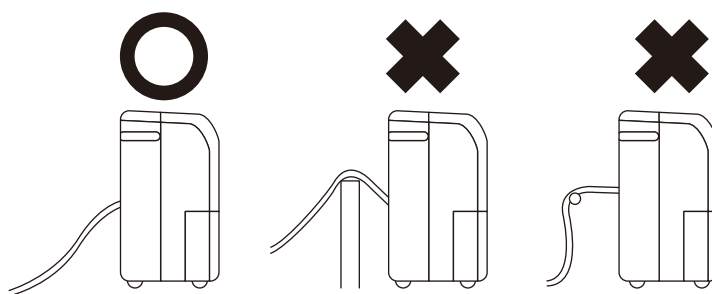


- ④ドレンホースの根元までキャップを通しましたら、ゴムキャップを外した状態で、ドレンホース口へ取り付けしてください。

⚠ 注意

ドレンホースは右図の○のように取り回してください。

ドレンホースの取り回しが誤っていると上手く排水がされず、水漏れ等の原因となります。



ドレンホースの周囲は氷点下にならないようしてください。ホース内が凍り、水漏れの原因となる場合があります。

霜取り機能について

本製品は低温時（およそ 12℃以下）で運転した際に、霜が張る可能性があります。

霜が張った際には、霜取りランプが点灯し運転を停止します。

霜が溶けた後に、自動で運転を再開します。

※外気温が 5℃以下の場合には霜の張る時間が多くなり、正常な運転ができなくなりますので、5℃以下の場合には使用しないでください。

上記の環境下で使用を続けた場合、本体故障の原因となる場合があります。

お手入れ

⚠ 注意

❗	お手入れの際は必ず、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
⊘	本体を水洗いする事は絶対にしないでください。感電の原因となる恐れがあり危険です。
❗	内部の洗浄や、分解しての清掃はお客様では行わないでください。 そのような場合には弊社サービスセンターまでお問い合わせください。
⊘	お手入れの際、シンナー、ベンジン等の溶剤、みがき粉等は使用しないでください。 本体劣化、本体損傷の原因となります。

●フィルター



フィルター

フィルターは2週間に一度を目安に定期的に掃除をしてください。
フィルターを外すにはドレンタンクを外し（P7）、左図のようにフィルターを引き抜きます。

フィルターは掃除機でホコリを吸うか、軽くたたき、ホコリを落としてください。

汚れがひどい場合には中性洗剤を溶かした水等で洗ってください。
洗剤等を使用した場合にはよくすすぎ、陰干しで乾燥させてください。

掃除が完了しましたら、フィルターを必ず元に戻してください。

●ドレンタンク

ドレンタンクとドレンタンクカバーは1ヵ月に一度を目安に、定期的に掃除してください。

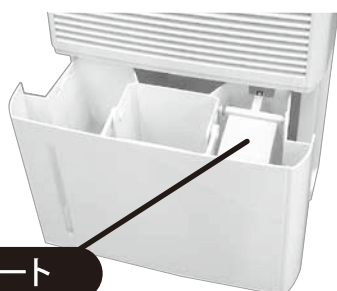
使用しないときは、タンク内の水分を乾いた雑巾等で拭きあげてください。

水分を残したままにしておくとフロートが正常に働かず、水漏れの原因となるおそれがあります。

ドレン口が詰まることでも水漏れの原因となりますので、ドレン口も綿棒等で定期的に掃除してください。

※ドレンタンクのお手入れ時、フロート部分が外れていないこと、しっかりと取り付けられていることを確認してください。

フロート部が外れていたり異常がある場合には満水停止機能が正常に作動せず、水漏れや運転をしない等の原因となります。



フロート

※ドレンタンクカバーを外した状態



ドレン口



トラブルの原因と対策

故障の種類	原因	対策
運転しない	- 電源プラグが外れている。 - ドレンタンクの満水停止装置が働いている。 - ドレンタンクが正しくセットされていない。 - 周辺温度が低すぎる。 - 電源を切ってすぐに運転を開始した。	- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 - ドレンタンクの水を捨て再セットする。 - ドレンタンクをしっかりと取り付け直す。 - 使用温度範囲が適切か確認を行い使用環境温度内で使用する。 - 電源を切った後はすぐにコンプレッサーは起動しません。(P4)
水が漏れる	- ドレン口が汚れている、詰まっている。 - フロートがずれている。 - ドレンタンクが正しくセットされていない。 - ドレンホースが正しくセットされていない。 - ドレンホースの取り回しが悪い。 - ドレンホースのパッキンが傷んでいる。 - 本体が斜めになっている、傾いている。	- ドレン口を掃除してください。 - フロートが正しくセットされているか確認してください。 - ドレンタンクを確認し、正しくセットしてください。 - ドレンホースを正しくセットし直す。(P8) - ドレンホースの取り回しを正しく直す。(P8) - 販売店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。 - 本体を平らな場所に移動する。
なかなか湿度が下がらない	- 設定湿度が使用環境の湿度よりも高く設定されている。 - 窓や戸等が開いている、頻繁に開閉している。 - 湿度センサーの故障。 - 使用環境の温度が低く、霜が張っている。 - 石油ストーブや水蒸気が出る物がある。 - 使用範囲が広すぎる	- 任意の湿度に設定し直す。 - 窓や戸を閉める、開閉しないようにする - 販売店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。 - 正しい使用環境でご使用ください。(P4) - 湿度の原因となる物との併用はしない。 - 適切な範囲で使用する。
風が弱い 風が出ない	- 電源プラグが外れている。 - 霜が張っている。 - フィルターの目詰まり。	- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 - 霜が取れるのを待つ。 - フィルターを掃除する。(P9)

※本体が異常発熱している、電源コード、プラグが損傷している、異常音がする等、本体に異常がある場合や異常を感じたときには直ちに使用を止め、お買い上げの販売店もしくは弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

【廃棄方法】

本製品はフロンガスが使用されており、フロン排出抑制法における第一種特定製品として扱われます。製品を廃棄するときは、下記にご注意ください。

この製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。廃棄する場合は、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者（登録制）に委託し、適切に処理してください。

廃棄についてご不明な点は、各地方自治体の窓口に確認をお願いいたします。

株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-7101

受付時間10:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。

2023.12